本資料のうち，枠囲みの内容は，
営業秘密又は防護上の観点から
公開できません

東海第二発電所　工事計画審査資料	
資料番号	工認-413　改 0
提出年月日	平成 30 年 5 月 30 日

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所　工事計画審査資料

原子炉冷却系統施設のうち

原子炉冷却材浄化設備

（原子炉冷却材浄化系）

（本文）

9　原子炉冷却材浄化設備

9.1　原子炉冷却材浄化系

(1)　熱交換器

a.　再生熱交換器

b.　非再生熱交換器

(3)　ろ過装置

a.　原子炉冷却材浄化系フィルタ脱塩器

(5)　主要弁

(6)　主配管

9　原子炉冷却材浄化設備に係る次の事項

9.1　原子炉冷却材浄化系

(1)　熱交換器の名称，種類，容量，最高使用圧力（管側及び胴側の別に記載すること。），最高使用温度（管側及び胴側の別に記載すること。），伝熱面積，主要寸法，材料及び個数

				変　更　前	変更後
名称				再生熱交換器	変更なし
種類			－	横置三胴U字管式*1	
容量（設計熱交換量）			MW/個	[redacted]（25.7*2，*3，*4）	
管側	最高使用圧力		MPa	9.80	
	最高使用温度		℃	302	
胴側	最高使用圧力		MPa	9.80	
	最高使用温度		℃	302	
伝熱面積			m^2/個	[redacted]（149.5*3／1胴×3胴）	
主要寸法	管側	胴内径*5	mm	760*3	
		胴板厚さ*6	mm	[redacted]（97.5*3）	
		平板厚さ*8	mm	[redacted]（126*3）	
		管側入口管台外径	mm	165.2*3，*7	
		管側入口管台厚さ	mm	[redacted]（11.0*3，*7）	
		管側出口管台外径	mm	165.2*3，*7	
		管側出口管台厚さ	mm	[redacted]（11.0*3，*7）	
	胴側	胴内径*9	mm	700*3	
		胴板厚さ*10	mm	[redacted]（41*3）	
		鏡板厚さ*11	mm	[redacted]（45*3）	
		鏡板の形状に係る寸法	mm	700.0*3，*7 （鏡板の内面における長径）	
				175.0*3，*7 （鏡板の内面における短径の2分の1）	
		胴側入口管台外径	mm	165.2*3，*7	
		胴側入口管台厚さ	mm	[redacted]（11.0*3，*7）	
		胴側出口管台外径	mm	165.2*3，*7	
		胴側出口管台厚さ	mm	[redacted]（11.0*3，*7）	
	管板厚さ		mm	[redacted]（117*3）	
	伝熱管外径		mm	15.9*3	
	伝熱管厚さ		mm	[redacted]（2.6*3）	
	全長		mm	5550*3	

（続き）

				変　更　前	変更後
材料	管側	胴　　板	－	SUSF316	変更なし
		平　　板	－	SF490A	
	胴側	胴　　板	－	SUS316	
		鏡　　板	－	SUS316	
	管　　板		－	SUSF316	
	伝　熱　管		－	SUS316LTB	
個　　数			－	1＊13	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「横置Ｕ字管式」と記載。

＊2：ＳＩ単位に換算したもの。

＊3：公称値を示す。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「22.14×10^{6} kcal/h/個」と記載。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室内径」と記載。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室胴部厚さ」と記載。

＊7：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，平成 10 年 10 月 27 日付け発管発第 81 号にて届け出した工事計画の添付書類「Ⅳ-2-1-1-1　原子炉冷却材浄化系再生熱交換器の強度計算書」による。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室平板厚さ」と記載。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体内径」と記載。

＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体厚さ」と記載。

＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴部鏡板厚さ」と記載。

＊12：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「1（3 胴）」と記載。

				変　更　前	変更後
名　称				非再生熱交換器	変更なし
種　類			－	横置二胴U字管式*1	
容量（設計熱交換量）			MW/個	[redacted](8.84*2，*3，*4)	
管側	最高使用圧力		MPa	9.79*3	
管側	最高使用温度		℃	302	
胴側	最高使用圧力		MPa	0.86*3	
胴側	最高使用温度		℃	188	
伝熱面積			m^2/個	[redacted] (139*4／1胴×2胴)	
主要寸法	管側	胴内径*5	mm	740.0*4，*6	
		胴板厚さ*7	mm	[redacted](85.0*4，*9)	
		平板厚さ	mm	[redacted](118.0*4，*8)	
		管側入口管台外径	mm	165.2*4，*8	
		管側入口管台厚さ	mm	[redacted](11.0*4，*8)	
		管側出口管台外径	mm	165.2*4，*8	
		管側出口管台厚さ	mm	[redacted](11.0*4，*8)	
	胴側	胴内径*10	mm	650*4	
		胴板厚さ*11	mm	[redacted](12*4)	
		鏡板厚さ*11	mm	[redacted](12*4)	
		鏡板の形状に係る寸法	mm	650.0*4，*8 (鏡板の内面における長径)	
				162.5*4，*8 (鏡板の内面における短径の2分の1)	
		胴側入口管台外径	mm	216.3*4，*8	
		胴側入口管台厚さ	mm	[redacted](8.2*4，*8)	
		胴側出口管台外径	mm	216.3*4，*8	
		胴側出口管台厚さ	mm	[redacted](8.2*4，*8)	
	管板厚さ		mm	[redacted](103*4)	
	伝熱管外径		mm	15.9*4	
	伝熱管厚さ		mm	[redacted](1.6*4)	
	全長		mm	6210*4	

（続き）

				変　更　前	変更後
材料	管側	胴　　板*12	－	SF50*13	変更なし
		平　　板	－	SF50*8	
	胴側	胴　　板*14	－	SB42	
		鏡　　板*14	－	SB42	
	管　　板		－	SF50*13	
	伝　熱　管		－	SUS304LTB	
個　数			－	1*16	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「横置Ｕ字管式」と記載。

＊2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「1.21×10^5 kg/h」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊3：ＳＩ単位に換算したもの。

＊4：公称値を示す。

＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「仕切室側内径」と記載。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「680」と記載。記載内容は，昭和 51 年 8 月 30 日付け建建発第 98 号にて届け出した工事計画の添付書類「Ⅲ-1-1-2　非再生熱交換器の規格計算書」による。

＊7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「仕切室側板厚」と記載。

＊8：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 51 年 8 月 30 日付け建建発第 98 号にて届け出した工事計画の添付書類「Ⅲ-1-1-2　非再生熱交換器の規格計算書」による。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には，仕切室側板厚である「115」と記載。記載内容は，昭和 51 年 8 月 30 日付け建建発第 98 号にて届け出した工事計画の添付書類「Ⅲ-1-1-2　非再生熱交換器の規格計算書」による。

＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体側内径」と記載。

＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体側板厚」と記載。

＊12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「仕切室」と記載。

＊13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SF50 [redacted]」と記載。

＊14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体」と記載。

＊15：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「1（2 胴）」と記載。

(3)　ろ過装置の名称，種類，容量，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料及び個数

			変　更　前	変更後
名　称			原子炉冷却材浄化系 フィルタ脱塩器*1	変更なし
種　類		－	たて置円筒形*2	
容　量		m³/h/個	[redacted](61.3*3)	
最高使用圧力		MPa	9.79*4	
最高使用温度		℃	66	
主要寸法	胴内径	mm	1058*3	
	胴板厚さ*5	mm	[redacted]60*3,*7)	
	鏡板厚さ*8	mm	[redacted](65*3,*9)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	1058*3, *6 (鏡板の内面における長径)	
		mm	264.5*3, *6 (鏡板の内面における短径の２分の１)	
	平板厚さ	mm	[redacted](260*3)	
	高さ*10	mm	2864.5*3,*11	
	入口管台外径	mm	139.8*3,*6	
	入口管台厚さ	mm	[redacted](9.5*3)	
	出口管台外径	mm	139.8*3,*6	
	出口管台厚さ	mm	[redacted]9.5*3)	
	本体フランジ厚さ	mm	[redacted](140*3)	
材料	胴板*12	－	SB42*13	
	鏡板	－	SB42*13	
	平板*14	－	SF50*15	
	本体フランジ	－	SF50*6	
個　数		－	2	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「フィルタ脱塩器」と記載。
＊2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒竪形（四脚支持）」と記載。
＊3：公称値を示す。
＊4：ＳＩ単位に換算したもの。
＊5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

＊6：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和51年8月30日付け建建発98号にて届け出した工事計画の添付書類「Ⅲ-1　規格計算書」のうち，「Ⅲ-1-1-3　フィルタ脱塩器規格計算書」による。

＊7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「60+4 mm [redacted] と記載。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚」と記載。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「65+4 mm [redacted] と記載。

＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全長」と記載。

＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には，脚部からベント管上端部中心までの高さである「4260」と記載。記載内容は，設計図書による。

＊12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

＊13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SB42[redacted]」と記載。

＊14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「上蓋板」と記載。

＊15：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SF50[redacted]」と記載。

＊16：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

(5)　主要弁の名称，種類，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，駆動方法，個数及び取付箇所

			変　更　前	変　更　後
名称			G33-F001*1	変更なし
種類		－	止め弁*2	
最高使用圧力		MPa	8.62*1	
最高使用温度		℃	302*1	
主要寸法	呼び径	－	150 A	
	弁箱厚さ	mm	[redacted]*1	
	弁ふた厚さ	mm	[redacted]*1	
材料	弁箱 *4	－	SCS14	
	弁ふた *4	－	SCS14	
	弁体 *4	－	SCS14	
駆動方法		－	電気作動*3	
個数		－	1	
取付箇所	系統名（ラインン名）	－	G33-F001 原子炉冷却材浄化系*1	
	設置床	－	原子炉格納容器 EL.14.00 m*1	
	溢水防護上の区画番号	－	－	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	－		

注記　＊1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「仕切弁」と記載。

＊3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「電動式(ＡＣ)」と記載。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「材料」と記載。

			変　更　前	変　更　後
名　称			G33-F004*1	変更なし
種　類		－	止め弁*2	
最高使用圧力		MPa	8.62*1	
最高使用温度		℃	302*1	
主要寸法	呼び径	－	150 A	
	弁箱厚さ	mm	[redacted]*1	
	弁ふた厚さ	mm	[redacted]*1	
材料	弁箱	－	SCS16A	
	弁ふた	－	SCS16A	
	弁体	－	SCS16A*1	
駆動方法		－	電気作動*3	
個　数		－	1	
取付箇所	系統名（ラインン名）	－	G33-F004 原子炉冷却材浄化系*1	
	設置床	－	原子炉建屋原子炉棟 EL.14.00 m*1	
	溢水防護上の区画番号	－	－	RB-2-10
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	－		EL.15.54 m以上

注記　＊1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「仕切弁」と記載。

＊3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「電動式(ＤＣ)」と記載。

(6) 主配管の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料

変更前							変更後					
名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*2 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
原子炉冷却材浄化系	原子炉再循環系及び原子炉圧力容器底部ドレン～弁G33-F001*1	8.62	302	114.3	8.6*2	SUS316TP	原子炉冷却材浄化系	変更なし			変更なし		
				114.3*18 /— /114.3	8.6*2*19 /— /8.6*2	SUS316TP							
				165.2 /114.3	11.0*2 /8.6*2	SUS316TP							
				114.3 /—	8.6*2 /—	SUS316TP					—*3		
				165.2	11.0*2,*4	SUS316TP					変更なし		
				165.2 /165.2 /—	11.0*2 /11.0*2 /—	SUS316TP							
				165.2 /165.2 /165.2	11.0*2 /11.0*2 /11.0*2	SUS316TP							
				165.2	11.0*2,*4	SUS304TP							
				165.2 /165.2 /76.3	11.0*2 /11.0*2 /7.0*2	SUS304TP							
				165.2	[redacted](11.0*2)	SUSF316							
				60.5*5	8.7*2,*5	STPT49*5							
				61.1*5,*6	10.9*2,*5,*7	STPT49*5							
				76.3 /60.5*5	9.5*2 /8.7*2,*5	STPT49*5							
				76.3	9.5*2,*4	STPT49							
				76.3	9.5*2,*4	STS49							
				76.3 /76.3 /76.3	9.5*2 /9.5*2 /9.5*2	STPT49							
				76.3	9.5*2	SUS304TP							

（続き）

変更前							変更後					
名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*2 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
原子炉冷却材浄化系	弁 G33-F001 *1 ～ 弁 G33-F004	8.62	302	165.2	11.0*2	SUS316TP	原子炉冷却材浄化系	変更なし				
	弁 G33-F004 *1 ～ 循環ポンプ入口	8.62	302	165.2	11.0*2	STPT42		変更なし		変更なし		
				165.2 /165.2 /114.3	11.0*2 /11.0*2 /8.6*2	STPT42				—*3		
				114.3	8.6*2	STPT42				変更なし		
				165.2 /114.3	11.0*2 /8.6*2	STPT42				—*3		
				114.3	13.5*2	SUS304*8				変更なし		
	再生熱交換器入口管 循環ポンプ出口 *9 ～ 再生熱交換器入口	9.80	302	114.3	8.6*2	STPT49		変更なし				
				165.2	11.0*2	STPT49						
				165.2*5	11.0*2, *5	STPT480*5						
				165.2	11.0*2	SUS316TP						
	再生熱交換器連結管 *10	9.80	302	165.2	11.0*2	SUS316TP		変更なし				
	再生熱交換器出口 *11 ～ 非再生熱交換器入口	9.80	302	165.2	11.0*2	SUS316TP		変更なし				
				165.2	11.0*2	STPT49						
				165.2*5	11.0*2, *5	STPT480*5						
	非再生熱交換器連結管 *10	9.80	302	165.2	11.0*2	SUS304TP		変更なし				

（続き）

変更前								変更後					
名称			最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*2 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
原子炉冷却材浄化系	原子炉冷却材浄化系フィルタ脱塩器入口管	*12 非再生熱交換器出口 ～ 弁 G33-32A,B	9.80*13	66	165.2	11.0*2	STPT49	原子炉冷却材浄化系	変更なし					
					165.2*5	11.0*2, *5	STPT480*5							
					114.3	8.6*2	STPT49							
		*14 弁 G33-32A,B ～ 原子炉冷却材浄化系フィルタ脱塩器	9.80*13	66	114.3	8.6*2	SUS304TP		変更なし					
					165.2	11.0*2	SUS304TP							
					139.8	9.5*2	SUS304TP							
	原子炉冷却材浄化系フィルタ脱塩器出口管	*15 原子炉冷却材浄化系フィルタ脱塩器 ～ 弁 G33-31A,B	9.80*13	66	139.8	9.5*2	SUS304TP		変更なし					
					165.2	11.0*2	SUS304TP							
					114.3	8.6*2	SUS304TP							
		*16 弁 G33-31A,B ～ 再生熱交換器入口	9.80	66	114.3	8.6*2	STPT49		変更なし					
					165.2	11.0*2	STPT49							
					165.2*5	11.0*2, *5	STPT480*5							
					165.2	11.0*2	SUS316TP							
	再生熱交換器出口	*17 再生熱交換器出口 ～ 弁 G33-F040	9.80	302	165.2	11.0*2	SUS316TP		変更なし					
					165.2*5	11.0*2, *5	STPT480*5							
					165.2	11.0*2	STPT49							

（続き）

変更前								変更後					
名称			最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*2 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
原子炉冷却材浄化系	再生熱交換器出口管	弁G33-F040*17 ～ 給水系	8.62	302	165.2	11.0*2	STPT49	原子炉冷却材浄化系	変更なし					
					267.4*5 /165.2*5	15.1*2, *5 /11.0*2, *5	STPT49*5							
					267.4*5 /267.4*5 /—	15.1*2, *5 /15.1*2, *5 /—	STPA23*5							
					267.4*5	15.1*2, *5	STPA23*5							
					165.2*5 /165.2*5 /114.3*5	11.0*2, *5 /11.0*2, *5 /8.6*2, *5	STPT49*5							
					165.2*5 /114.3*5	11.0*2, *5 /8.6*2, *5	STPT49*5							
					114.3	8.6*2, *4	STPT49							
					114.3	11.1*2	STPT49							

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉再循環系及び原子炉圧力容器底部ドレンより循環ポンプ入口」と記載。
＊2：公称値を示す。
＊3：当該ラインについては，主配管に該当しないため，記載の適正化を行う。
＊4：エルボについては，取り合う配管と同等以上の厚さである。
＊5：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
＊6：差込み継手の差込み部内径を示す。
＊7：差込み継手の最小厚さを示す。
＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS304TP」と記載。記載内容は，設計図書による。
＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「循環ポンプ出口より再生熱交換器入口まで（再生熱交換器入口管）」と記載。
＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「再生熱交換器連結管及び非再生熱交換器連結管」と記載。
＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「再生熱交換器出口より非再生熱交換器入口まで」と記載。
＊12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「非再生熱交換器出口より濾過脱塩器へ（濾過脱塩器入口管）」と記載。
＊13：ＳＩ単位に換算したもの。
＊14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「（フィルタ脱塩器入口管）非再生熱交換器よりフィルタ脱塩器まで」と記載。
＊15：記載の適正化を行う。既工事計画書には「（フィルタ脱塩器戻り管）フィルタ脱塩器より再生熱交換器へ」と記載。
＊16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ろ過脱塩器より再生熱交換器入口まで（ろ過脱塩器出口管）」と記載。
＊17：記載の適正化を行う。既工事計画書には「再生熱交換器出口より給水系まで」と記載。
＊18：記載の適正化を行う。既工事計画書には「114.3/114.3/114.3」と記載。
＊19：記載の適正化を行う。既工事計画書には「8.6/8.6/8.6」と記載。

表1　原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）の主要設備リスト（44／45）

			変　更　前					変　更　後				
設備区分	系統名	機器区分	名　　称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名　　称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
原子炉補機冷却設備	緊急用海水系	主配管	－					代替燃料プール冷却系熱交換器 ～ A系統代替燃料プール冷却系緊急用海水配管合流点 及び B系統代替燃料プール冷却系緊急用海水配管合流点	－	－	常設耐震／防止 常設／緩和	ＳＡクラス２
	補機冷却系海水系	ポンプ	補機冷却系海水系ポンプ	Ｂ－１	Non*3	－		変更なし			－	－
		ろ過装置	補機冷却系海水ストレーナ	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
		主配管	補機冷却系海水系ポンプ ～ 補機冷却系海水ストレーナ	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			補機冷却系海水ストレーナ ～ 原子炉補機冷却系熱交換器出口	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
原子炉冷却材浄化設備	原子炉冷却材浄化系	熱交換器	再生熱交換器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			非再生熱交換器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
		ろ過装置	原子炉冷却材浄化系フィルタ脱塩器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
		主要弁	G33-F001	Ｓ	クラス１	－		変更なし			－	－
			G33-F004	Ｓ	クラス１	－		変更なし			－	－
		主配管	原子炉再循環系及び 原子炉圧力容器底部ドレン ～ 弁G33-F001	Ｓ	クラス１	－		変更なし			－	－
			弁G33-F001 ～ 弁G33-F004	Ｓ	クラス１	－		変更なし			－	－
			弁G33-F004 ～ 循環ポンプ入口	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－

表1　原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）の主要設備リスト（45／45）

			変　更　前					変　更　後				
設備区分	系統名	機器区分	名　　称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名　　称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
原子炉冷却材浄化設備	原子炉冷却材浄化系	主配管	循環ポンプ出口 ～ 再生熱交換器入口	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			再生熱交換器連結管	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			再生熱交換器出口 ～ 非再生熱交換器入口	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			非再生熱交換器連結管	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			非再生熱交換器出口 ～ 弁G33-32A，B	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			弁G33-32A，B ～ 原子炉冷却材浄化系フィルタ脱塩器	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			原子炉冷却材浄化系フィルタ脱塩器 ～ 弁G33-31A，B	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			弁G33-31A，B ～ 再生熱交換器入口	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			再生熱交換器出口 ～ 弁G33-F040	Ｂ－１	クラス３	－		変更なし			－	－
			弁G33-F040 ～ 給水系	Ｓ	クラス２	－		変更なし			－	－

注記　＊1：表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「５　原子炉本体の基本設計方針，適用基準及び適用規格」の「表1 原子炉本体の主要設備リスト 付表1」による。
＊2：当該ラインについては，主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
＊3：「発電用原子力設備規格　設計・建設規格（2005年度（2007年追補版含む））＜第Ｉ編　軽水炉規格＞JSME S NC1-2005/2007」（日本機械学会）における「クラス３ポンプ」である。
＊4：本設備は記載の適正化のみ行うものであり，手続き対象外である。
＊5：格納容器貫通部のうち管を示す。